



■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジオエント横浜	階数	地上6F
建設地	横浜市西区岡野1-6-1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	109 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 竣工	評価の実施日	2024年2月9日
敷地面積	1,351 m ²	作成者	川井敏直
建築面積	713 m ²	確認日	2024年2月9日
延床面積	3,296 m ²	確認者	川井敏直



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	76%
③上記+②以外の	76%
④上記+	76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.3
温熱環境	2.2
光・視環境	2.4
空気質環境	4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.6
耐用性	2.9
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	2.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.9
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ZEH-M オリエンテッドの基準を達成し、地球環境に配慮するとともに、植栽を市の基準を満足させ、周辺環境にも資するよう配慮する。		
Q1 室内環境 外部騒音に対して、T-2ツツ採用とし、周辺に対しては外廊下外階段が見えにくいよう配置し、相互の環境に留意。また、内装材については、F☆☆4以上とし、環境に留意。	Q2 サービス性能 構造については、劣化等級3とし、耐久性に考慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽をできるだけ道路に面して確保し、憩いの空間創出。入り口部分にピロティ部分を作り雨宿りスペース確保。外廊下・外階段を住棟間に設けることで、周辺住民との相互プライバシーを確保。
LR1 エネルギー BELLS評価において、外皮0.6以下一時エネ0.8以下を達成。	LR2 資源・マテリアル 発砲断熱材は硬質ウレタンフォームA種1H採用とする。	LR3 敷地外環境 緑地面積を市条例以上に確保。駐輪台数駐車台数は条例に基づき確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCO₂の算定条件等については、「LCO₂算定条件シート」を参照されたい



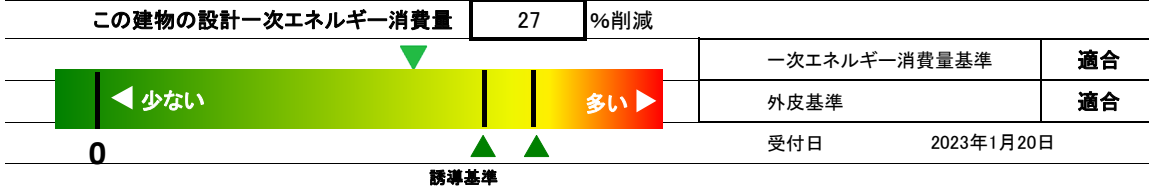
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ジオエント横浜**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①外皮住戸単位で、0.6以下となるよう設計。
- ③一次エネルギーを住棟単位で0.8以下とするよう設計。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4を超.(相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

ZEHオリエンテッド対応

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

- ⑥F4スターを満足する製品での設計。
- ⑦必要なところに防犯カメラの設置。オートロックの採用。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯鉄筋コンクリート造の耐用年数対策として劣化等級を3として設計している

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑳外廊下・外階段を建物内に配置し、周辺相互との音環境等を悪くしないよう計画

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1
ジオエント横浜

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境										2.9
1 音環境				2.0	0.15	3.6	1.00			3.3
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				1.0	0.50	4.3	0.50			-
1		開口部遮音性能		1.0	1.00	5.0	0.30			-
2		界壁遮音性能		-	-	4.0	0.30			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	4.0	0.20			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	4.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
2 温熱環境				1.0	0.35	2.5	1.00			2.2
2.1 室温制御				1.0	0.50	3.7	0.50			-
1		室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.63	3.0	0.63			-
2		外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	5.0	0.38			-
3		ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	2.0	0.20			-
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30			-
3 光・視環境				1.8	0.25	2.6	1.00			2.4
3.1 昼光利用				1.8	0.30	2.5	0.30			-
1		昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	0.60	2.0	0.50			-
2		方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3		昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.30			-
1		昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御				1.0	0.25	1.0	0.25			-
4 空気環境				4.2	0.25	4.2	1.00			4.2
4.1 発生源対策				5.0	0.60	5.0	0.63			-
1		化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気環境	5.0	1.00	5.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38			-
1		換気量	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2		自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	3.0	0.33			-
3		取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1		CO ₂ の監視	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	-	-			-
2		喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.7
1 機能性				2.7	0.40	2.6	1.00			2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1		広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	-	-	-			-
2		高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	-	3.0	1.00			-
3		バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40			-
1		広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	-	3.0	0.50			-
2		リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
3		内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.50	-	-			-
2		維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	4.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1		耐震性	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2		免震・制振性能	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-			-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
6		主要設備機器の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2		給排水・衛生設備	防災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3		電気設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4		機械・配管支持方法	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5		通信・情報設備	防災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.8	1.00			2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50			-
1		階高のゆとり		1.0	-	3.0	0.60			-
2		空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

ジオエント横浜

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			2.4
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり		1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり		3.0	0.40	-	-			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり		3.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ		3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能		5.0	0.20	-	-			5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能		2.0	0.10	-	-			2.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能		5.0	0.50	-	-			5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		3.0	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		2.0	-	-	-			-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		3.0	0.50	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			2.9
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-			3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	-			2.8
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				2.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.1
1 地球温暖化への配慮				3.9	0.33	-	-			3.9
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-			2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-	-	-			-
1 騒音				-	-	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.67	-	-			-
1 風害の抑制				-	-	-	-			-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	1.00	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.0	0.33	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組				-	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心		5.0	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心		5.0	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心		3.0	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心		5.0	-	-	-			-